

地域連携・社会貢献白書

2023
|
2024



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

地域と大学が学び合い、 高め合う関係を築く

共愛学園前橋国際大学 学長 大森 昭生

共愛学園前橋国際大学は「地域とともに歩む大学」として、教育・研究のすべてを通じて地域との関係を深めてまいりました。この地域との関係性を、本学では「地学一体」と称しています。地域（地）と大学（学）が分かちがたく結びつき、共に未来を創っていく姿を表す言葉です。決して一方向の関係性ではありません。

同時に、地域と大学の真ん中に学生がおり、学びがあることも「地学一体」が表す特徴です。学生が地域に学び、地域の皆様が学生を育てて下さる。その双方向の関係性こそが、本学の大きな特色であり、私たちが大切にしてきた想いです。

近年は、自治体や企業、NPO、学校等との協働による実践的なプロジェクトが広がり、地域課題の解決に学生と教職員が共に取り組んでいます。現場での挑戦と対話を通じて、学生たちは知識を実践へと結びつけ、自らの成長と地域への貢献を実感しています。こうした営みは、単なる地域貢献にとどまらず、地域と大学が学び合い、高め合う関係を築くものです。

もちろん、地域の皆さまの温かいご理解と力強いご支援があってこそ、このような教育・研究活動は成り立っています。日頃より本学の取り組みにご協力いただいているすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。

これからも本学は、地域社会の一員として責任を果たしながら、「地学一体」の理念のもと、持続可能で活力ある地域づくりと、地域の未来を切り拓く人材の育成に取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



地域との連携と共創を 改めて考えるきっかけに

地域共生・SDGsセンター長 竹内 愛

共愛学園前橋国際大学は、開学以来「共愛・共生」を理念に掲げ、人と人、大学と地域が互いに支えあう関係を大切にまいりました。また「グローバル」を合言葉に、世界的な視点と地域目線を往還しつつ、教育・研究・社会貢献の各場面で、地域に根差した取り組みを重ねてきたことは、本学の大きな特色です。

このたび、地域共生・SDGsセンターでは、個々の教員や部署による地域とつながる連携や実践を、教育・研究・課外活動・生涯学習、さらに講師派遣や委員委嘱といった学外活動も含めて取りまとめました。本白書は、本学が実践してきた地域連携・社会貢献を体系的に整理し、広く発信する初めての白書です。

分断や対立が顕在化し、社会環境が大きく変化する昨今だからこそ、「共に生きる」「未来世代に責任を持つ」という視点はますます重要性を増しています。

共愛・共生の理念で地域とつながる本学の実践には、持続可能な社会を構想するための示唆があると考えます。本白書が、地域との連携と共創を改めて考えるきっかけとなることを願っています。



目次

学長挨拶・センター長挨拶	2
●特集	
デリバリークラス・高大連携	5-6
●授業での連携・貢献	
授業「地域プロジェクト／アドバンス演習 スワローピック」	7
授業「地域プロジェクト／アドバンス演習 共愛COCO」	8
授業「地域プロジェクト／アドバンス演習 自然体験支援」	9
授業「地域活性化演習 スローシティ／スローシティ上級」	10
授業「地域活性化演習 絹織物」	11
授業「グローバルセミナー」	12
授業「シティズンシップ演習」	12
授業「地域活性化演習 過疎化地域課題探求」	13
授業「地域活性化演習 まちなか商店街」	13
授業「地域活性化演習 共生」	14
授業「バーチャルカンパニー I・II・III」	15
授業「ボランティア実習」	16
授業「群馬を知る」	17
授業「環境政策」	18
授業「前橋市を考える」	19
授業「群馬で学ぶ（地域探究）」	20
授業「前橋市で学ぶ（地域探究）」	20
授業「企業人オムニバス講座」	21
授業「地域と企業」	22
授業「地域企業人の経営力を学ぶ」	22
共愛果茶プロジェクト	23
授業「取材型地域企業研究」	24
授業「インターンシップ」	25
授業「長期インターンシップ」	26

目次

●ゼミナールでの連携・貢献

繭美蚕／兼本ゼミ	27
ぐんま方言かるたプロジェクト／佐藤ゼミ	28
野口ゼミ	29
野口ゼミ／鈴木鉄忠先生スローシティ演習	29
西館ゼミ	30
古澤ゼミ	31
群馬県警察サイバーパトロールコラボレーター／渡辺ゼミ	32
児浦ゼミ	33
曹ゼミ	33
八桁ゼミ	34

●課外活動等での連携・貢献

小学校教育サポーター	35
テック活用ワークショップ	36
学生プロジェクト「外国につながる子どもを元気に♪プロジェクト」	37
前橋まちなか教会散歩マップ	37

●その他事業での連携・貢献

公開講座	39
公開授業	40
地域連携講座「上毛を学ぶ」	41
群馬現代史研究会	42
陶芸教室／テラコッタ彫刻教室	43
出張講座	43
Back to the Earth（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ）	44
めぶく。プラットフォーム前橋	45
ぐんま未来イノベーション会議	46
UDぐんま前橋研修会	47
教員紹介ページ	49

※記載の簡略化のため、本文中では企業名の敬称を省略して表記しております。

デリバリークラス

高校の教室に本学の講義を無料でお届けする、デリバリークラスを実施しています。大学HPに講義内容一覧を掲載しており、学問分野や講義テーマに合わせて選んでいただくことができます。

デリバリークラスのメリット

01

生徒の大学進学への 動機付けに

大学の授業を「体験」することで生徒の大学受験への動機付けが明確化し、進学意識の向上につながります。

02

生徒の興味・関心の幅を 広げるために

高校にはない学問分野を学ぶことで生徒の知的好奇心を満たし、生徒の学問への興味・関心の幅を広げます。

03

教職員やPTAの研修に

大学の取り組みを知ることで、授業改善や教授法の知識を深めることに役立ちます。

■2023年度：10件（群馬県内9件、県外1件）

■2024年度：11件（群馬県内10件、県外1件）

デリバリークラスについて詳しくはこちら▶



高大接続

デリバリークラスだけでなく、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指導や、生徒への面接・レポート指導、教員研修、学生派遣、連携授業の開講等も行っています。また、学校単位での大学見学も受け入れております。

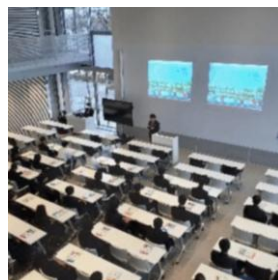
大学見学

大学ってどんなところだろう？何を勉強するのか？
まだまだ進路が決まらない高校生の後押しになるようなプログラムをご用意しています。高校の要望に沿って先生の講義や授業見学、学生の発表、キャンパスツアーなど考えていきます。



大学見学一例

- ・大学って何を学ぶの？ →大森学長より大学の学びについての話
- ・高校生活を振り返って →卒業生の学生などがリアルな話
- ・大学生活について →学生が大学の時間割・活動を紹介
- ・キャンパスツアー →学生と大学内を回ってみよう



高大接続

学生による Teaching Assistant・発表フィードバック・助言等

本学の学生が高校に行って授業のアシスタントを行ったり、生徒の発表を聞いてフィードバックや助言を行ったりしています。学生も新たな発見があり高校生からたくさん刺激をもらって帰ってきます。



2023年度実績一部

- ・ 探究活動アドバイザー → 高崎北高校の探究授業をサポート
- ・ 探究発表会での助言指導 → 前橋高校等
- ・ 授業アシスタント → 市立太田高校・前橋東高校等
- ・ 模擬市長選立候補 → 市立前橋高校のお手伝い



2024年度実績一部

- ・ 探究活動アドバイザー → 高崎北高校の探究授業をサポート
- ・ 探究発表会での助言指導 → 前橋高校等
- ・ 授業アシスタント → 市立太田高校・高崎商業高校等
- ・ 模擬市長選立候補 → 市立前橋高校のお手伝い

本学教員による発表会指導助言・生徒からのインタビュー等

課題研究や探究活動の発表会に本学教員が行き、発表のアドバイスや講評・指導等を行います。本学教員が、生徒からインタビューを受けて答える探究活動への参加もありました。



2023年度実績一部

- ・ 探究発表会での助言指導 → 前橋高校、桐生高校等
- ・ 授業、レクチャーなど → 市立太田高校・前橋東高校等
- ・ フィールドワーク指導・面接対策講座 → 市立前橋高校



2024年度実績一部

- ・ 探究発表会での助言指導 → 前橋高校、桐生高校等
- ・ 授業、レクチャーなど → 市立太田高校・高崎商業高校・高崎女子高校
前橋清陵高校・尾瀬高校等
- ・ フィールドワーク指導・面接対策講座 → 市立前橋高校



今後も、地域の中学校・高校との協働により、よりよい教育実践に取り組んでまいります。

本件に関するお問い合わせ

アドミッションセンター TEL : 027-266-9031 MAIL : mkc@c.kyoai.ac.jp

授業「地域プロジェクト／アドバンス演習 スワローピック」



[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

家庭の事情などで塾に通えない児童・生徒や、外国籍の子供たちのための学習支援教室に講師として参加します。地域が抱える問題点を知り、それらの課題に取り組む人々との協働・交流を通して、地域人材としての自覚や行動力を身につけることを目標としています。



連携先

伊勢崎市／沼田市／みなかみ町／子ども日本語教室・未来塾

2023年度実績・成果

2023年度前期・後期 <履修者>25名

沼田市、みなかみ町に加え、5月から伊勢崎市の“子ども日本語教室・未来塾”においても支援を開始しました。さらに6月には同塾やフリースクール、外国にルーツを持つ子供の学習支援のNPO法人の代表の方や本授業の1期生を講師に招き、さまざまな状況にいる子供たちが抱える困難を知り、支援の在り方を考えました。



2024年度実績・成果

2024年度前期・後期 <履修者>25名

伊勢崎市にある外国にルーツを持つ子供のための“子ども日本語教室・未来塾”で学習支援を行いました。日本の遊びや、音読大会、計算大会などでも、交流することができました。また、6/19は同塾の代表の方、6/26は本学の八桁由布樹講師（本学）、本授業のOGで現役教員の方を招いての講演会を実施。支援の在り方や具体的な指導法などのご講義をいただきました。



[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

「地域の孫になる」ことをコンセプトに、年間を通してみなかみ町の準限界集落（藤原地区平出集落）で、住民の方々とのふれあいの中で持続可能な地域づくりを考えます。また、同町観光協会との連携や、前橋市内のイベント出展などでみなかみ町の広報活動にも努めています。



連携先

みなかみ町藤原平出集落／みなかみ町観光協会／前橋芸術文化れんが蔵

2023年度実績・成果

2023年度中通年 <履修者>42名

地域の見守りとして年間で28回、現地を訪問。住民の方とともに除草、落ち葉掃き、竹の伐採、獣害対策、除雪など環境保全を中心に活動しました。しめ縄づくりに挑戦したり、小正月をともに祝ったりと地域固有の風習にも多く触れることもできました。さらに同地区の歴史や習俗について取材し文書化する製本プロジェクト、活動のPRのため同町の廃材を使った商品開発などにも挑戦しました。

(ボランティア協力)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 5/20、5/21 | みなかみ3ダム春の点検大放流 |
| 8/20 | 藤原湖マラソン |
| 10/19 | 水と光のナイトガーデン |
| 4/30、5/4、5/7、8/13、9/9 | SLお出迎え・お見送りイベント |



2024年度実績・成果

2024年度中通年 <履修者>59名

地域の見守りとして年間で合計26回、現地を訪問。住民の方とともに除草、落ち葉掃き、竹の伐採、獣害対策、除雪など環境保全などを中心に活動しました。さらに9/7、9/8は諏訪神社例大祭に参加し、地域固有の文化にも触れることができました。

(ボランティア協力)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 5/18、5/19 | みなかみ3ダム春の点検大放流 |
| 9/14、9/15 | New Acoustic Camp |
| 10/12、10/27、11/4 | 水と光のナイトガーデン |

本授業の活動は、(一社)学修評価・教育開発協議会主催のオフキャンパス報告会で優秀賞受賞、ぐんま未来基金の採択、群馬県未来構想フォーラム参加など、学外からも高評価をいただきました。



[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

小学生を対象に赤城山で行う夏休みの自然体験プログラムを計画、実施します。子供たちが安全に、かつ自然の中でのびのびと活動できるようサポートすることで、地域社会の一員としての自覚や行動を促します。前橋市児童文化センターとの共催事業であり、事前研修では同所を訪れ、自治体が子供たちの健やかな成長のためにどのような支援をしているかも学びます。



連携先

前橋市児童文化センター

2023年度実績・成果

2023年8月6日（日）・20日（日）・27日（日）（本活動実施日） <参加者>学生20名（ボランティア含）、小学生10名

2023年8月6日（日）・20日（日）・27日（日）に3回に分けて実施しました。6日はカレー作り（赤城少年自然の家）、20日は森の中で行うクイズウォーク（SUBARUふれあいの森）と木工クラフト（あかぎ木の家）、27日は竹を使った遊具づくり（サンデンフォレスト）に挑戦しました。



2024年度実績・成果

2024年8月10日・11日（本活動実施日） <参加者>学生17名（ボランティア含）、小学生15名

8月前半の週末に、2日間実施しました。10日はカレー作り（国立赤城青少年交流の家）、11日は森の中で行うクイズウォーク（SUBARUふれあいの森）と木工クラフト（あかぎ木の家）に挑戦しました。



[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

地域の個性を尊重する「スローシティ」の理念のもと、大学生と住民が任意団体「前橋赤城マイマイの会」を立ち上げ、力を合わせて課題解決に取り組んでいます。拠点とする古民家「大胡ベース」で行う農作業や食農イベント、前橋市が推進する「前橋赤城スローシティ」のイベント参加が主な活動です。



連携先

前橋赤城マイマイの会

2023年度実績・成果

2023年度中通年 <参加者> 66名（学生21名、卒業生5名、東洋大学生26名、地域の方14名）

一年を通じて農園での野菜の収穫があり、学内や市内協力施設、マルシェなどで販売しました。また、収穫した野菜や地場産の農産物を使い6/10「ジャガ祭り」、10/7「スローピッツア」、12/17「お稲荷祭り」、1/13「おもちつき」などの食農イベントを地域の方とともに計8回実施しました。市が推進するスローシティ関連イベントには、6/3は「はだし歩き」、10/27・10/28「道の駅前橋赤城のマルシェ」他、計5回参加しました。



2024年度実績・成果

2024年度中通年 <参加者> 85名（学生40名、卒業生5名、東洋大学生27名、地域の方13名）

一年を通じて農園での野菜の収穫があり、学内や市内協力施設、マルシェなどで販売しました。また、収穫した野菜や地場産の農産物を使い5/11・10/5「PizzaParty」、1/11「餅つき」などの食農イベントを地域の方とともに開催しました。市が推進するスローシティ関連イベントには8/24・8/25「あかぎ大沼・白樺マラソン」の運営、10/6「富士見eスポーツ大会」など計10回、ボランティアとして協力しました。



[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

織都・桐生市で絹織物をテーマに地域活性化について学びます。現地取材で歴史や産業についての知識を深め、さらに学生自身で絹糸を染めストールを織ります。これらの現場体験から得た知見をもとに、「桐生」「グローバル」「本学」の3つの特徴を踏まえ、世界に発信できる独自の製品を構想、製作、発表します。



連携先

なし

2023年度実績・成果

- ・2023年度前期・後期（土曜中心・全12回）
- ・ファッションショー 2024年1月19日（金） <履修者>前期3名・後期1名

まち歩きや取材活動、染色研修、また絹遊塾工房風花での織物実習を行いました。最終発表は前期は桐生をテーマにしたプレゼンテーションと動画作成を、後期は「Connections」をテーマにファッションショーを開催しました。後期のファッションショーには桐生市の関係者の方にもご臨席いただきました。



2024年度実績・成果

- ・2024年度前期（土曜日中心）
- ・ファッションショー 2024年7月19日（金） <履修者>7名

まち歩きや取材活動、染色研修、また絹遊塾工房風花での織物実習を行いました。それぞれが作った製品はファッションショーで発表。ショーは同市に織物を伝えた白瀧姫の伝説からインスピレーションを得て「A TALE OF LOVE: Crossing Borders」をテーマにステージを作り上げました。桐生市の関係者の方にもご臨席いただきました。また、上毛新聞の取材があり、各所で注目いただきました。



授業「グローバルセミナー」



[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

2年生必須の演習科目で、300名強の学生が12クラスに分かれて実施されます。前期は県内の地域における課題を様々なデータや現場調査から設定し発表、後期は地域課題の解決策を提案・発表します。クラス内のグループはコース横断的に編成されており、学生はそれぞれの専門性を発揮しながら協働していきます。専任教員約30名もコースを超えて12クラスに分かれて担当し、授業運営を行います。

連携先

前橋市/まちづくり関係者

2024年度実績・成果

2024年度前期・後期の木曜2限 <履修者> 本学2年生約300名 (全員)

前期と後期に3回ずつ行ったLEGOワークショップが上毛新聞に掲載されました。



授業「シティズンシップ演習」



[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

市民としての資質を学外の現場に出て考える授業です。2024年度は、駒形駅前に2020年にオープンしたカフェ「木下商店」の経験に学びながら、大学が所在する近隣地域をどう活性化していくかという課題を、木下商店の店主と一緒に検討し、自分たちにできることを考えました。



連携先

木下商店

2024年度実績・成果

2024年10月29日 (火) 15:00~17:00 <参加者> 学生約20名

木下商店を実際に訪れ、その場で店主のプレゼンを聞き、お店がここに誕生した経緯や店主のこだわり、生き方を知ることができました。大学の一番近くの「地域」をいかに活性化するか、店主の問題意識を共有してもらいながら、解決案を一緒に考えました。

授業「地域活性化演習 過疎化地域課題探究」



[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

消滅可能性自治体である南牧村・嬭恋村での課題解決を行う実践型授業として実施しています。人口減少が著しい群馬県中山間部において、関係人口を創出し「にぎやかな過疎」を実現することを目的としています。

連携先

嬭恋村役場／嬭恋村内民間企業／南牧村民間団体

2024年度実績・成果

2024年度前期の金曜5限・2024年度後期の期間随時 <履修者>前期約20名 <参加者>課外活動4名

前期は金曜5限に全15回の授業として実施しました。7月には1泊2日で南牧村の視察および体験活動を行い、月末には南牧村長に対する発表会を実施しました。

後期は課外プロジェクトとして取り組み、2月には「南牧子どもフェス」をなんもく学園にて開催しました。さらに、翌6月には登山客を対象とした販売イベントを道の駅オアシスなんもくにて実施しました。



授業「地域活性化演習 まちなか商店街」



[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

前橋中心商店街の方を講師に、商店街の魅力と課題を学びながら活性化に向けた活動を行います。2013年、山本龍市長（当時）の呼びかけで始まった市内の大学生・専門学校生が中心市街地の活性化に取り組む「やる気の木プロジェクト」を引き継いだ授業です。

連携先

前橋市／前橋中央通り商店街

2023年度実績・成果

- ・2023年度後期の金曜6限
- ・成果報告会 2024年1月23日（火） <履修者>7名

商店街の方々への取材や調査を重ね、中心市街地の現状に触れたうえで、学生それぞれが活性化のためのアイデアを作成しました。美術展や脱出ゲームなどのイベント開催、アプリの開発などさまざまなアイデアに商店街の皆さまからもご高評をいただきました。なお、成果発表会の様子は前橋新聞mebukuのWEB版 (<https://mebuku.city/news/study/post-14986/>)でも紹介されました。



[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

「共生」をテーマに、主に日本のイスラーム社会と地域社会の相互理解について学びます。講義での学びに加え、モスクやハラールショップ、レストランでのフィールドワークやワークショップ、調理実習など、現場の中で学修を深めます。授業の最終回には、フィールドワークの成果を作品（映像、フォトブック、装いのデザイン、建築模型など）の形にして発表する場を設けています。

連携先

なし

2024年度実績・成果

2024年度後期（土曜中心、全6回） <履修者>13名

フィールドワークでは東京都内や群馬県内のモスクを訪問し、イスラームの建築やファッション、食文化、ボランティア活動などについてお話を伺いました。また、モスクの方々と一緒に料理を作るなど交流を深め、食とアイデンティティについて考えました。



[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

起業家教育プログラム「Youth Enterprise」を利用し、仮想企業を立ち上げる授業です。群馬県をテーマにした新商品の開発を地元企業と連携しながら行い、11月下旬～12月上旬に行なわれる仮想企業の見本市「Youth Enterprise トレードフェア」でその成果を発表し、受賞を目指します。最終的な目標としては、学生たちのアイデアが商品化されることです。実際に地元企業や自治体などと連携しながら進めることで、その関わりを通して、実社会で必要とされるスキルを身につけていきます。



連携先

県内企業等

2023年度実績・成果

- ・2023年度前期・後期の金曜2限
- ・Youth Enterprise トレードフェア 2023年11月26日（日） <履修生>40名

授業では、8つの仮想企業を設立しました。その成果を発表する場として、「Youth Enterprise トレードフェア」（会場：京都大学）に6チーム30名が参加し、以下の3チームが受賞しました。

- ・京都経済同友会賞：「恵美-emi-」
- ・ステューデント賞：「をかし」
- ・特別賞：「いろどり」

また、「をかし」は2ひきのうさぎと共同で『たすくっきー』を開発し、2月より販売を開始しました。この取組はエフエム群馬への出演にもつながりました。さらに、「いろどり」はクリハラと共同で『キャベジたん』を開発し、3月から楽天市場で販売を開始しました。なお、同商品は授業における取組としては初めての楽天市場での販売事例となりました。

2024年度実績・成果

- ・2024年度前期・後期の金曜2限
- ・Youth Enterprise トレードフェア 2024年12月1日（日） <履修生>39名

授業では、8つの仮想企業を設立しました。その成果を発表する場として、「Youth Enterprise トレードフェア」（会場：京都大学）に5チーム25名が参加し、以下の3チームが受賞しました。

- ・青少年と科学の会賞：「燈」
- ・ジュエリーブティ賞：「がんとぶ。」
- ・ステューデント賞：「をかし」

また、「燈」は授業としては初となるクラウドファンディングに挑戦し、267,000円の支援金を獲得しました。この取組はエフエム群馬への出演にもつながりました。さらに、「をかし」は2ひきのうさぎと共同で『よりSOYたると』を開発し、3月より販売を開始しました。



[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 国際社会学部、地域共生・SDGsセンター

事業概要

学生がボランティアを始めるきっかけとなること、また、ボランティア活動への参加を通して、学生が地域に出て様々なコミュニティを形成すること、活動の中で通常の授業では得難い経験や学びを獲得することを目的としています。通年で県内外の団体からのボランティア募集を学生へ案内しており、年2回開催の講演会では、学生がボランティアに対する理解を深める機会となっています。

連携先

県内外の事業者／ボランティア団体等

2023年度実績・成果

- ・ボランティア活動 2023年4月18日（火）～2024年1月31日（水）の期間随時
 - ・ボランティア講演会 2023年7月10日（月）6限、2024年1月19日（金）6限
- <履修者>89名

ボランティア活動は、学生が自主的にそれぞれの活動へ申し込み、随時活動を行いました。

前期ボランティア講演会は、「ボランティアについて知ろう」をテーマに、高山弘毅氏（Nukiito代表）にボランティアの基本的な知識等について講演を行っていただきました。

後期ボランティア講演会は、本学学生である磯田優斗さん・村山みなみさん・清水彩さんの3名に、それぞれ自身のボランティア経験やボランティア活動をとおして得た学びなどについて講演を行っていただきました。

2024年度実績・成果

- ・ボランティア活動 2024年4月16日（火）～2025年1月31日（水）の期間随時
 - ・前期ボランティア講演会 2024年7月12日（金）6限、2025年1月24日（金）6限
- <履修者>69名

ボランティア活動は、学生が自主的にそれぞれの活動へ申し込み、随時活動を行いました。

前期ボランティア講演会は2023年度に引き続き、「ボランティアについて知ろう」をテーマに、高山弘毅氏（Nukiito代表）にボランティアの基本的な知識等について講演を行っていただきました。

後期ボランティア講演会は、本学学生であり、NPO法人アスワード代表を務める山本祥一さん、同じく本学学生でありNPO法人アスワード所属の峰萌々香さんに、NPO法人アスワードの事業についてや、それぞれ自身のボランティア経験・ボランティア活動をとおして得た学びなどについて講演を行っていただきました。

[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

群馬県による寄付講座です。私たちが生活する群馬県は、東京から約100km圏に位置し、豊かな自然や温泉地、住みやすい環境などに恵まれています。本講義では、群馬県が取り組んでいる施策や優れた特性について学ぶことを通じて、本県の魅力や可能性についての理解を深めます。さらに、地域資源を活かしたまちづくりや産業振興、観光振興などの事例を取り上げ、群馬県の現状と将来像を多角的に考察します。これにより、地域社会の一員として、群馬県の発展に貢献するために必要な視点や知識を身につけることを目的とします。



連携先

群馬県

2023年度実績・成果

2023年度後期の火曜2限 <履修者>120名

群馬県職員による講義を通じて、自然環境や観光資源、地域産業、環境政策、文化・歴史など、県内の多様な側面について学びました。各回では、具体的な事例紹介や現地の取組が示され、受講者は群馬県の現状や課題を把握するとともに、地域振興や持続可能なまちづくりへの理解を深めました。これらの学びを通して、学生は地域社会の一員としての意識を高め、郷土への関心と理解を深める機会となりました。

2024年度実績・成果

2024年度後期の火曜2限 <履修者>122名

群馬県職員による講義を通じて、新・総合計画ビジョンやデジタル・グリーンイノベーション、観光、防災、健康づくり、多文化共生など、県政の幅広い分野について学びました。各回では具体的な施策や地域での取組が紹介され、受講者は群馬県の現状と課題を把握するとともに、地域社会の発展と持続可能な未来を考える視点を養いました。講義を通して、学生は県政への理解を深め、地域への関心と主体的な学びの姿勢を育むことができました。

[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

群馬県による寄付講座です。群馬県では、県の環境政策を総合的に推進するため、「新・群馬県総合計画」を環境面から支える「群馬県環境基本計画（2021－2030）」を2021（令和3）年3月に策定しました。本講義では、この計画の内容を踏まえ、環境に関する最新の動向や事例を交えながら、自然環境、循環型社会、生活環境、地球温暖化対策及び環境活動について学びます。さらに、持続可能な地域づくりや、私たち一人ひとりが果たすべき役割について考察し、環境保全と地域社会の発展の両立を目指す視点を養うことを目的とします。



連携先

群馬県

2023年度実績・成果

2023年度後期の火曜4限 <履修者>72名

群馬県職員等による講義を通じて、自然環境、循環型社会、生活環境、地球温暖化対策及び環境活動など、県内の多様な側面について学びました。各回では、具体的な事例紹介や現地の取組が示され、学生は群馬県の現状や課題を把握するとともに、持続可能な地域づくりや私たち一人ひとりが果たすべき役割について理解を深めました。これらの学びを通して、学生は地域社会の一員としての意識を高め、郷土の自然への関心と理解を深める機会となりました。

2024年度実績・成果

2024年度後期の火曜1限 <履修者>30名

群馬県職員等による講義を通じて、自然環境、循環型社会、生活環境及び地球温暖化対策など、県内の多様な側面について学びました。また、環境活動の講義では超炭素社会からの脱出を目指すボードゲームを通して、今まで学んだ知識や経験を活かして温室効果ガスを削減するクイズやイベントに挑戦するなど環境活動を模擬体験しました。これらの学びを通して、学生は群馬県の現状や課題を把握するとともに、持続可能な地域づくりや私たち一人ひとりが果たすべき役割について理解することができ、郷土の自然への関心と理解を深める機会となりました。

[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

前橋市による寄付講座です。同市の各課から派遣された職員による講義を通じて、地域が抱える問題やその解決へ向けての行政の動きなどを学びます。また地域社会の住人、社会人としての自覚を促します。



連携先

前橋市役所

2023年度実績・成果

2023年度後期の火曜日5限 <履修者>140名

初回講義（10/3）には山本龍市長（当時）が「スローシティ・食・農・道の駅・移住・お一人さま高齢者・デジタルデバインド @共愛学園前橋国際大学 社会の課題？を解決する力」と題して、前橋市の取り組みについて講演されました。

（以降のスケジュール）

10/10	政策推進課／選挙管理委員会事務局	12/5	救急課
10/24	文化国際課	12/12	保険予防課
10/31	こども支援課	12/19	市街地整備課／アーツ前橋
11/7	生涯学習課／市民協働課	1/9	環境政策課／資産経営課
11/14、11/21	共生社会推進課	1/16	健康増進課
11/28	観光政策課	1/23	長寿包括ケア課



2024年度実績・成果

2024年度後期の火曜日5限 <履修者>155名

初回講義（10/1）には2024年2月に当選・就任した小川晶市長が「前橋の未来と課題～well beingなまちを目指して」と題して、特に力を入れている「子育て」や「食・農業」への取り組みを中心に講演されました。

（以降のスケジュール）

10/8	政策推進課／環境政策課	12/3	長寿包括ケア課
10/15	産業政策課	12/10	資産経営課／文化国際課
10/29	観光政策課	12/17	保健予防課
11/5、11/19	共生社会推進課	1/7	未来政策課
11/12	こども支援課	1/14	文化国際課
11/26	救急課	1/21	健康増進課



授業「群馬で学ぶ（地域探究）」



[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

2年生以上のグローバル領域選択科目で、定員60名の科目です。大泉・富岡・伊勢崎・桐生等で行われている地域イベントとまち歩きに参加し、地域の魅力や課題を発見し、各地域の行政や観光協会、まちづくり団体の方へ提案・発表します。また、県庁とも連携した取り組みを実施し、県全体の課題や重点政策に関係する要素を取り入れています。

連携先

群馬県庁／富岡市・桐生市・大泉町の観光協会、まちづくり団体

2024年度実績・成果

2024年度前期の金曜4限 <履修者>約60名

5月・6月には、大泉町で開催された「世界のグルメ横丁」に参加しました。また、6月には桐生市で開催された「買場紗綾市」に参加しました。さらに、同月には群馬県庁NETSUGENにて実施された脱炭素まちづくりワークショップに参加し、これらの活動の様子は群馬テレビでも放映されました。



授業「前橋市で学ぶ（地域探究）」



[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

2年生以上のグローバル領域選択科目で、定員50名の科目です。前橋市役所の各部署（にぎわい商業・観光政策・市民協働・文化国際・アーツ前橋・政策推進など）と各企業・団体（GNホールディングス・前橋まちづくり公社・めぶくグラウンド）と連携し、現場体験を用意し、学生達が前橋の魅力や課題を発見する機会を提供します。学生達は考えた課題解決策をめぶくコミュニティを通して、地域住民や行政・まちづくり関係者から意見を拾い、妥当性の高い解決策を計画化し発表します。

連携先

前橋市／めぶくグラウンド／GNホールディングス／まちづくり関係者

2024年度実績・成果

2024年度後期の金曜4限・その他イベント実施日 <履修者>36名

10月23日には、にぎわい商業、観光政策、文化国際分野の体験活動に20数名の学生が参加しました。11月2日には、市民協働、環境政策、アーツ前橋分野の体験活動に20数名が参加しましたが、一部は雨天のため中止となり、11月23日に延期して実施されました。なかでも、市民協働課が企画した大利根中央公園でのペイントイベント（11月23日）は、上毛新聞に掲載されました。

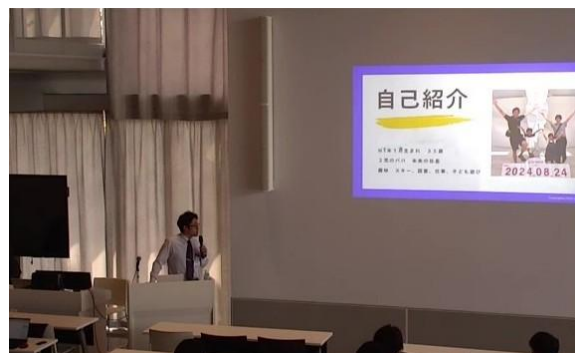
なお、大利根中央公園でのイベントをきっかけに、本学学生と大利根地区自治会との交流が継続的に行われており、現在は月1回の頻度で、本学学生による「大利根食堂」が開催されています。



[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

群馬県中小企業家同友会による寄付講座です。毎回異なった地元企業の経営者が登壇し、「仕事」や「人生」のことなどをお話しいただきます。講義に加えグループディスカッションおよびワークを行い、登壇者の話を聞いたうえで自らのこれからの在り方を考える時間にしています。



連携先

群馬中小企業家同友会

2023年度実績・成果

2023年度後期の火曜日3限 <履修者>70名

(スケジュール)

- 10/10 諏訪康彦氏 (スワコーポレーション 代表取締役)
- 10/24 新井あけみ氏 (タカラコーポレーション 代表取締役)
- 10/31 今庄春景氏 (サンネット)
- 11/14 平野正敏氏 (平野商店 専務取締役)
- 11/21 金井雄吾氏 (ブランケット社会保険労務士・行政書士事務所 代表)
- 11/28 西岡智明氏 (gift 代表取締役)
- 12/5 石原秀樹氏 (ヒルズ伊勢崎 代表取締役)
- 12/19 桑原裕和氏 (果実庭 代表取締役)
- 1/9 中島純貴氏 (中島イーディーエム 専務取締役)
- 1/16 遠山昌子氏 (赤城フーズ 代表取締役)

11/7、12/12はグループディスカッションを行い、1/26の最終回には「自分にコミット！～履修生一人一人の宣言～」として、この講義から学んだこと、これからの行動で心がけたいことについて一人ずつスピーチしました。

2024年度実績・成果

2024年度後期の火曜日3限 <履修者>47名

(スケジュール)

- 10/8 小林潤氏 (税理士事務所sky 所長)
- 10/15 中島将太氏 (中島 専務取締役)
- 10/29 都丸悟氏 (トマルファーム 代表取締役)
- 11/12 笠原克也氏 (笠原産業 代表取締役)
- 11/19 石塚雅彦氏 (石塚 代表取締役)
- 11/26 小川浩司氏 (ピーチファクトリー 代表社員)
- 12/3 小柴淳氏 (コシバ電機 代表取締役)
- 12/17 山崎将臣氏 (山崎製作所 代表取締役)
- 1/7 宮島あかね氏 (勝山電気工事 取締役)
- 1/14 天野優氏 (JOETSUデジタルコミュニケーションズ)

11/5、12/10はグループディスカッションを行い、1/21の最終回には「自分にコミット！～履修生一人一人の宣言～」として、この講義から学んだこと、これからの行動で心がけたいことについて一人ずつスピーチしました。



授業「地域と企業」



[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

GNホールディングスが提供する寄付講座です。同社より電気自動車「サクラ」5台および急速充電器の提供を受け、これらを教材としたビジネス演習を通じて、協働するや実践的スキルの育成を図っています。



連携先

GNホールディングス

2024年度実績・成果

2024年度後期の火曜4限 <履修者>90名

理論学習を組み込みながらグループワークを繰り返し行い、各グループで検討したサクラを使ったカーシェアビジネスのアイデアについて、GNホールディングスに提案しました。この活動の成果として、本学構内に「学内EVカーシェア」事業がオープンし、学生・教職員が専用アプリを通じて予約・利用できる仕組みが整いました。事業準備段階から学生がプロジェクトに参画し、利用料金や利用推進策に関する提案内容が実際の運営方針に反映されています。これにより、環境配慮型モビリティの活用と持続可能な地域社会づくりに寄与するとともに、学生の実践的な学びを深化させていきます。

授業「地域企業人の経営力を学ぶ」



[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

GISアドバンス（群馬イノベーションスクールアドバンス）加盟企業との連携授業です。各回加盟企業から経営者を一人派遣し、学生たちに経営者のビジョンやキャリアについての考え方を講義します。

連携先

GISアドバンス

2024年度実績・成果

2024年度後期の火曜3限 <履修者>50名

経営者の講話とグループによる討議の繰り返しにより、体験的学修を実施しました。

[カテゴリ] 連携 [実施主体] KYOAI GLOBAL HONORSプログラム

事業概要

群馬県に本拠地を構える株式会社ハルナプロデュース、株式会社ベイシアとともに、Z世代をターゲットにした飲料開発プロジェクトです。商品企画およびマーケティングを本学の学生、製造をハルナプロデュース、販売をベイシアが担当し、日本全国で飲料販売を展開しています。



連携先

株式会社ハルナプロデュース/株式会社ベイシア

2023年度実績・成果

2023年度中随時 <参加者> 本学グローバルオナーズ生5名

毎週1回の定例会議を通じて、共愛グローバルオナーズ生5名が商品開発活動に取り組みました。また、3か月に1度程度の頻度で、ハルナプロデュース株式会社および株式会社ベイシアに対してプレゼンテーションを実施し、商品開発の方向性について検討を行いました。

2024年度実績・成果

2024年度中随時 <参加者> 本学グローバルオナーズ生5名

定例会議を重ねて商品開発を進め、10月16日には本学5101教室において新商品発表会を実施しました。当日は上毛新聞社をはじめとする報道機関も参加し、5名の学生によるプレゼンテーションおよび試飲会を行いました。翌17日からは、全国のベイシア120店舗にて販売を開始し、10月26日にはベイシアまえばし南モール店において特別デモ販売を実施しました。なお、2024年度内に5万本以上を販売する成果を上げました。



[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

県内中小企業の経営者や従業員を取材し、企業紹介の資料作成・発表を行います。現役のビジネスパーソンと対峙することで就業への意識を高める、インターンシップの入門編ともいえる授業です。質問力や会話力、ビジネスマナーなど社会人として必要な力を身に着けることを目的としています。

連携先

群馬中小企業家同友会

2023年度実績・成果

- ・2023年4月19日（水）～2023年9月15日（金）
- ・中間報告会 2023年8月10日（木）
- ・成果報告会 2023年9月15日（金） <履修者>1名

(取材)

6月ー7月 兼希工業、中島、エスティビー、

8月ー9月 マルシン産業、中里スプリング製作所、中島イーディーエム、ソレイユ

(発表)

8月 中間報告会

9月 成果報告会

報告会には取材対象の企業の方をはじめ、群馬県立伊勢崎清明高校リベラルアーツ部の皆さんや本学OBで起業、経営者として活躍している古井戸進氏（一般社団法人Portal代表）、アジズ・アフメッド氏（合同会社NowNever.）もご参加いただき、意見交換を行うことができました。

2024年度実績・成果

- ・2024年4月12日（金）～2024年8月21日（水）
- ・成果報告会 2024年8月21日（水） <履修者>2名

(取材)

7月 エスティビー gift

8月 中島 マルシン産業

(ゲスト講師による勉強会)

6月 企業コンサルティングの手法

7月 取材インタビューの準備

講師：井坂康志教授（ものづくり大学教養教育センター教授 ドラッカー学会 共同代表）

(発表)

8月 成果報告会

取材対象の企業の方にご参加いただきました。学生からは企業に対し、SNSを使った広報の方法などを提案いたしました。

[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

就職活動前の時期に、職場においての重要なつながりを築きながら、関連する知識・スキル・経験を積むためにインターンシップは有益な方法です。その効果をより高めるために、「事前学習」と「就業体験実習」の2部構成で実施しています。「事前学習」では、ビジネスマナーを中心に秘書検定2級合格を目指し、実習先の内容や属する業界の研究等、グループワークや自主的な学びと事前準備を行います。「就業体験実習」では、夏季休暇中に2週間（実働10日間）の職場実習、報告書作成・実習報告会（11月）を実施。受入企業・自治体様にも実習状況について評価をしていただき授業評価に反映しています。



連携先

群馬県内を中心とした官公庁・民間企業（2023年度受入企業・自治体58社、2024年度受入企業・自治体59社）

2023年度実績・成果

- ・インターンシップ（10日間） 2023年8月9日（水）～9月20日（木）
- ・実習報告会 2023年11月22日（水）4限 <実習参加者>68名

前期授業では、前年に参加した学生4名が登壇し体験談を共有、後輩から様々な質問が寄せられます。続いて「社会で必要な力を考える」「ビジネスマナー」、履修生の興味・関心のある17業界に分かれての「業界研究」の学び合い、実習に向けた事前準備として「インターンシップの目標・行動計画の設定」「自己分析」「履歴書作成」「実習先へのアポイント・事前打合せ」等を実施しました。受入企業・自治体58社へ68名の学生たちがお世話になり、職場で様々な経験をさせていただきながら、実際に働く方から仕事の「やりがい」等を伺い、実習先の業界と職種・仕事内容の理解を深めます。11月の報告会では受入企業から28社34名の方にご参加いただき、今後に向けてのアドバイスをいただきました。



2024年度実績・成果

- ・インターンシップ（10日間） 2024年8月7日（水）～9月18日（水）
- ・実習報告会 2023年11月20日（水）4限 <実習参加者>77名

前期授業では、前年に参加した学生5名が登壇し体験談を共有、後輩から積極的な質問が寄せられます。続いて「社会で必要な力を考える」「ビジネスマナー」、履修生の興味・関心のある20業界に分かれての「業界研究」の学び合いと、実習に向けた事前準備として「インターンシップの目標・行動計画の設定」「自己分析」「履歴書作成」「実習先へのアポイント・事前打合せ」等を実施しました。受入企業・自治体59社へ77名の学生たちがお世話になり、職場で様々な経験をさせていただきながら、実際に働く方から仕事の「やりがい」等を伺い、実習先の業界と職種・仕事内容の理解を深めます。11月の報告会では受入企業から35社35名の方にご参加いただき、今後に向けてのアドバイスとエールをいただきました。



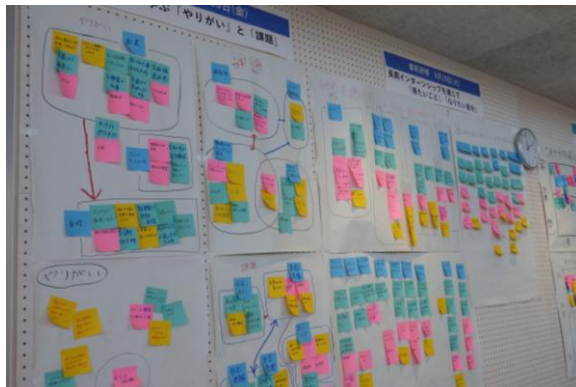
授業「長期インターンシップ」



[カテゴリ] 連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

後期約4か月間、学生は週3.5日以上、企業や市役所等で実務を経験し、ビジネスマナー・スキル・マインドを学びます。全3回の中間報告会では、仕事のやりがいと課題・職場から自分たちに求められていること・自身の変化等を振り返り、研修後は成果報告会を実施。研修先から企業課題や地域課題等も提示されるため、単なる就業体験を超えたビジネスパーソン（社会人）についても理解を深めることのできるプログラムです。



連携先

前橋市／民間企業

2023年度実績・成果 2023年9月21日（木）～2024年1月23日（火） <履修者>10名

前橋市の政策推進課、未来政策課、情報政策課、生涯学習課、市民協働課、永明市民SC、NPO教育支援協会北関東、GNホールディングスの8事業所が受け入れてくださいました。学生たちは、市ではふるさと納税、マイナンバーカード、まえばしデジタルサポーター、DX事業、はたちのつどい、Mサボなどの関連業務に、NPOでは学童保育や生涯学習事業、GNホールディングスでは本社業務やショールームの接客などを担当いたしました。



2024年度実績・成果 2024年9月19日（木）～2025年1月27日（日） <履修者>8名

前橋市の政策推進課、未来政策課、情報政策課、市民協働課、生涯学習課、教育支援課（児童文化センター）、文化財保護課、GNホールディングスの8事業所が受け入れてくださいました。市に派遣された学生はふるさと納税、スマートシティ推進事業、市役所のMicrosoft365導入に伴う初心者向けマニュアルの作成、Mサボ、はたちのつどい、児童文化センターの諸業務、埋蔵文化財の保護・展示などの業務を、GNホールディングスでは総務・経理・情報システム・営業など多岐にわたる業務に携わらせていただきました。



繭美蚕／兼本ゼミ



[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 情報・経営コース（現経営コース）兼本ゼミナール

事業概要

2005年6月に情報・経営コース（現経営コース）兼本ゼミナールの3年生によって設立された『繭美蚕』は、その後、ゼミナールの学生が代々引き継ぎながら運営する仮想企業です。設立当初は、群馬の名産である絹の特長を活かした肌に優しい絹製品の考案と消費者の方々に必要とされる商品作りを目的としていましたが、支援企業の門倉メリヤス株式会社の廃業に伴い、路線を転換。2010～14年度は、株式会社旅がらす本舗清月堂と提携してお菓子の共同開発を行いました。その後は、群馬県の地域活性化を目的として、様々な企業と提携しながら、商品開発やイベント販売など、積極的に活動しています。



連携先

県内企業等

2023年度実績・成果 県内で開催された様々なイベント 計45回 <参加者>ゼミ所属学生19名

株式会社総合PRからの依頼を受け、前橋市公式マスコットキャラクター「ころとん」のグッズ開発を、本学3年生13名が4チームに分かれて手掛けました。そのうち、シェリーと共同開発した「ころとんおでかけキーホルダー」と、くわの実と共同開発した「ころとんのトゥンカロン」は、3月30日・31日に開催された「ころとんはうす～おかしのおうち～」(会場：道の駅まえばし赤城)において、開発に携わった学生が販売を行いました。

また、昨年度から継続して4年生がマルクリ青果と進めてきた共同商品開発が実を結び、「ほうれん草とやまといものポタージュスープ」が、11月17日および18日に開催された「WORKWORK☆フェス2023」(会場：アイオーしんきん伊勢崎アリーナ)で販売されました。これらの取組は上毛新聞への掲載や、エフエム群馬への出演にもつながりました。さらに、3月からは「ほうれん草とやまといものポタージュスープ」と「美香蔵」が道の駅まえばし赤城での販売を開始しました。



2024年度実績・成果 県内で開催された様々なイベント 計35回 <参加者>ゼミ所属学生16名

群馬県を通じて依頼を受け、「ぐるりこ」を活用した商品開発の事業（ぐんま Agri×NETSUGEN 共創事業）に取り組みました。本事業では、キャベツ、コーヒー、オリーブの3班に分かれ、3・4年生あわせて16名が参加しました。12月25日には、埼玉県の関連事業との合同による中間発表会が東京都内で開催され、学生8名が参加しました。また、本取組の様子はフジテレビ「Live News α」にて放送されました。

さらに、昨年度から継続して4年生4名が三美堂と進めてきた共同商品開発が実を結び、「ころとんのはしおき」が3月より販売開始となりました。本商品は、上毛新聞への掲載やエフエム群馬への出演にもつながりました。



[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 児童教育コース佐藤ゼミナール

事業概要

群馬方言の保存継承を目的に「ぐんま方言かるた」を用いて県民に向けたかるた体験会を実施しています。

連携先

ぐんまこどもの国児童会館／群馬県庁／JINS PARK／共愛学園前橋国際大学短期大学部
共愛学園前橋国際大学地域児童教育研究会／富岡市立西小学校／高崎市新町公民館

2023年度実績・成果

- ・ 4月15日（土） ぐんまこどもの国児童館にて実施 <参加者>一般の方約50名
- ・ 6月25日（日） 群馬県庁にて開催された「リボンフェス」において実施 <参加者>一般の方約100名以上
- ・ 10月21日（土） JINSPARK（前橋市川原町）にて開催されたイベント「FUN！FUN！FUN！」で実施 <参加者>子ども約50名
- ・ 11月11日（土） 本学短期大学部（前橋市昭和町）明星祭にて実施 <参加者>一般の方約50名
- ・ 1月18日（木） 本学児童教育コースの基礎演習にて実施 <参加者>大学生約50名
- ・ 2月10日（土） 本学地域児童教育研究会にて <参加者>大学生40名
- ・ 2月15日（木） 富岡市立西小学校にて実施 <参加者>小学校4年生児童約40名

県内各地および本学内で実施した体験会によって、幅広い世代の人々に群馬方言に親しみと愛着を持ってもらうことができました。



2024年度実績・成果

- ・ 5月16日（木） 高崎市新町公民館にて本学出張講座として実施 <参加者>一般の方30名
- ・ 6月23日（日） ぐんまこどもの国児童会館にて体験会として実施 <参加者>一般の方約100名以上
- ・ 10月17日（木） 本学2年生必修科目「グローバルセミナー」にて実施 <参加者>大学2年生約300名
- ・ 10月19日（土）・20日（日） 本学学園祭「シャロン祭」にて実施 <参加者>一般の方約100名
- ・ 11月9日（土） 本学短期大学部学園祭「明星祭」にて実施 <参加者>一般の方50名

県内各地および本学内で実施した体験会によって、幅広い世代の人々に群馬方言に親しみと愛着を持ってもらうことができました。



[カテゴリ] 連携 [実施主体] 心理・人間文化コース 野口ゼミナール

事業概要

前橋市の東上野町公民館所蔵文書の調査・研究や、東上野町公民館所蔵文書の読解を行っています。また、前橋市東上野町公民館にて、月に一度程度、地域の方々と古文書の読み会を実施し、参加しています。特に水帳の読解を行っています。

連携先

前橋市東上野町公民館

2024年度実績・成果

2024年12月13日（金）、2025年1月24日（金）、2月24日（月）、4月21日（月）、5月26日（月）
7月4日（金）、8月4日（月）、9月29日（月） <参加者>各回ゼミ生1~10名、地域の方若干名

東上野町公民館所蔵文書は、2016年に発見された地域の歴史を伝える文書群です。古くは江戸時代前期350年ほど前の文書から、平成初期のものまでが残っています。野口ゼミでは東上野町自治会の方々と連携し、この貴重な文書群について学びました。実際に触れてみる体験や文書を開いてくずし字を読む経験もしています。興味をもった学生は、その後おおよそ月に1度開催している古文書の勉強会にも参加しています。そこでは主に水帳の読解・分析を地域の方々と行い、ともに理解を深めることができました。



野口ゼミ・鈴木鉄忠先生スローシティ演習

[カテゴリ] 連携 [実施主体] 心理・人間文化コース 野口ゼミナール、その他

事業概要

毎年4月と12月の初辰の日に、二宮赤城神社と三夜沢赤城神社を神様が行き来する御神幸の行事が行われており、当地域歴史三団体主催による御神幸の道を歩く催しが開催されています。阿久澤家接待の場所・御輿懸から参道松並木を歩くものであり、このイベントに学生も主催者側のお手伝いをしながら参加し、学んでいます。

連携先

宮城郷土史会／荒砥史談会／大胡歴史研究会

2024年度実績・成果

2024年11月9日（日） <参加者>地域の方多数、学生8名（野口ゼミ2名、授業「スローシティ演習」履修者6名）

イベントの遂行をサポートしながら、御神幸という行事について、歩いて学ぶことができました。



[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 全学教育推進機構 西館ゼミナール

事業概要

前橋市内中学生を対象とした国際理解推進事業「国際理解連続講座」やRootsインターン事業への協力を行いました。

連携先

前橋市国際教育推進委員会/NPO法人多文化共生ぐんま/群馬県地域創生部/NPO法人カタリバ

2023年度実績・成果

多文化共創担い手育成事業「地域の未来を次世代と共に創る～多文化共創担い手育成事業Rootsインターン報告会～」において、ゼミ担当教員の西館崇准教授（本学）がパネルディスカッションのファシリテーションを担当しました。

2024年度実績・成果

前橋市内の中学生を対象とした国際理解推進事業「国際理解連続講座」への協力として、西館ゼミ生が二講座分の内容を企画し、連携団体と協力しながら実施しました。また、多文化共創担い手育成事業「地域の未来を次世代と共に創る～多文化共創担い手育成事業Rootsインターン報告会～」においては、ゼミ担当教員の西館崇教授（本学）が第二部の「大人を交えた振り返り会」にてファシリテーションを担当しました。

[カテゴリ] 連携 [実施主体] 心理・人間文化コース 古澤ゼミナール

事業概要

本ゼミでは、地域共生に関する理解を深めることを目的として、課題演習の一環としてフィールドワーク型のリサーチを実施しています。東京都に所在するムスリムコミュニティや、特定地域に歴史ある教会が集積する地域を訪問し、多宗教共生や地域社会と宗教施設との関係について、現地での調査や対話を通じて学んでいます。



連携先

東京ジャーミイ・ディヤナト トルコ文化センター／軽井沢聖パウロカトリック教会
日本聖公会軽井沢ショー記念礼拝堂

2023年度実績・成果

2023年9月17日（日） <参加者>学生15名

現地では、施設やコミュニティの歴史に関するガイダンスや聞き取り調査を行い、国内における多宗教共生のあり方について議論を深めました。また、日本聖公会軽井沢ショー記念礼拝堂においては、軽井沢と教会の歴史に関する調査を実施し、地域社会と宗教の関係について理解を深めました。これらの活動を通じて、学生は宗教的背景の異なる人々が共生する社会の在り方を、地域の文脈から多角的に捉える力を養いました。



2024年度実績・成果

2024年3月27日（水） <参加者>学生13名

現地では、施設やコミュニティの歴史に関するガイダンスや聞き取り調査を行い、国内における多宗教共生のあり方について議論を深めました。また、日本聖公会軽井沢ショー記念礼拝堂においては、軽井沢と教会の歴史に関する調査を実施し、地域社会と宗教の関係について理解を深めました。これらの活動を通じて、学生は宗教的背景の異なる人々が共生する社会の在り方を、地域の文脈から多角的に捉える力を養いました。



[カテゴリ] 連携・貢献 [実施主体] 情報・経営コース (現経営コース) 渡辺ゼミナール

事業概要

群馬県警察学生サイバーパトロールコラボレーターは、サイバー空間の健全化とサイバー空間における利用者の規範意識の向上を図り、安全で安心して利用できるサイバー空間の確保を目的として、群馬県警により平成29年に発足されたものです。本学渡辺ゼミナールも群馬県警察から委嘱を受け、SNSの有害情報通報や広報啓発活動を行うボランティア活動を行っています。



連携先

群馬県警察

2023年度実績・成果

- ・2023年6月1日（木） けやきウォーク前橋にて実施
- ・2023年11月12日（日） イオンモール太田にて実施
- ・2023年11月23日（木） イオンモール高崎にて実施

<参加者>各回学生1～5名

県内各地の会場において、サイバー犯罪被害防止等に関する広報啓発活動及び教育活動を実施しました。また、インターネットを通じて把握した違法情報及び有害情報の通報等も行いました。



2024年度実績・成果

- ・2024年6月7日（金） J R前橋駅構内
- ・2024年10月26日（土） イオンモール太田

<参加者>各回学生3名

県内各地の会場において、サイバー犯罪被害防止等に関する広報啓発活動及び教育活動を実施しました。また、インターネットを通じて把握した違法情報及び有害情報の通報等も行いました。



[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 全学教育推進機構 児浦ゼミナール

事業概要

学生が群馬県内に対象地域を設定し、地域の魅力や課題を見出し、地域コミュニティ振興または地域プロモーションにつながる「ローカルプロジェクト」を立上げ、地域での実践を継続的に行います。当プロジェクト活動を通して、現場でのアクションリサーチを行い、研究成果をまとめます。

連携先

前橋市役所／(株)カテナス／前橋まちなかエージェンシー／前橋まちづくり公社／太陽の会／伊勢崎市／玉村町／吉岡町／富岡市／桐生市／みなかみ町／中之条町／南牧村ほか

2024年度実績・成果

2024年度中通年 <参加者>各活動学生約5~10名、地域の方多数

前橋市南町では、月2回の頻度で「こども食堂りあるく」を実施し、各回およそ25名の親子が参加しました。また、前橋市大利根自治会においては、月1回の頻度で「大利根食堂」を実施し、各回約60名の地域住民が参加しました。このほか、前橋七夕祭り、いせさき楽市、富岡げんきフェスタ、桐生買場紗綾市、みなかみみらいマルシェ等での出店およびボランティア参加、玉村町および吉岡町におけるポッチャ体験会や南牧こどもフェスの実施、吉岡町城山みはらし公園づくりワークショップの実施など、地域に根ざした多様な活動を展開しました。



曹ゼミ

[カテゴリ] 連携 [実施主体] 情報・経営コース（現経営コース）曹ゼミナール

事業概要

本ゼミでは、起業や地域産業への理解を深めることを目的に、社会見学やインタビューを通じた実践的な学修を行っています。シェアオフィスや行政機関、企業、支援機関などを訪問し、創業支援の仕組みや地域産業政策、官民連携の取組について現場から学んでいます。これらの活動を通じて、学生が地域に根ざしたビジネスや将来のキャリアについて主体的に考える力を養うことを目指しています。

連携先

群馬県未来投資・デジタル産業課／前橋市創業支援センター／VSI株式会社／comm／JETRO群馬／株式会社キャリアコ／City／Polyuse／デロイトトーマツMAEBASHI Social Innovation Hub／GNホールディングス株式会社

2024年度実績・成果

2024年5月12日（日）、6月13日（木）、7月11日（木）、10月10日（木）、11月7日（木）、11月28日（木）

<参加者>学生約15名

学外での社会見学やヒアリングを通じて、起業支援や地域産業の現場を多角的に学ぶ活動を行いました。創業拠点や支援機関、企業、行政の取組に触れることで、地域におけるビジネスの成り立ちや支援の仕組みを具体的に理解する機会となりました。また、起業家や実務担当者との対話を通じて、事業運営に伴う課題や意思決定の考え方に触れ、実社会と結びついた学びを深めました。

[カテゴリ] 連携 [実施主体] 児童教育コース 八桁ゼミナール

事業概要

八桁ゼミでは、「音楽×多文化共生教育」を核として、学生の興味・関心に基づくフィールドワークを実施しています。2023年度の事業は、地域にゆかりがあり初学者でも親しみやすいウクレレの教育的可能性と、外国人児童に対する支援の方法について探求したものです。

連携先

株式会社三ツ葉楽器/アツイぜぐんま！こどもウクレレ祭in前橋/伊勢崎市立境小学校

2023年度実績・成果

- ・2023年7月3日（月）14：20～15：50 ウクレレ講演会とワークショップ
- ・2023年10月14日（土）・15日（日）9：30～16：30 シャロン祭におけるウクレレワークショップ
- ・2023年9月2日（土）10：00～15：00 こどもウクレレ祭in前橋
- ・2023年10月30日（月）～12月18日（月）日本語支援活動

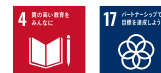
<参加者>11名

ゼミ活動の一環として、株式会社三ツ葉楽器と連携した講演会・ワークショップの開催、および「アツイぜぐんま！こどもウクレレ祭in前橋」での支援活動を行いました。また、授業では、ゲスト講師・川島雅子先生の指導も受けて、年間を通してウクレレに親しみ、ワークショップおよび学園祭（シャロン祭）で地域の方々にウクレレに触れる機会を提供することで、初等教育や生涯学習におけるウクレレの可能性について検討しました。

多文化共生教育に関しては、伊勢崎市立境小学校の日本語教室において支援活動を実施しました。教員や児童の姿から多くを学び、日本語教室における支援について理解を深め、教壇に立った際に外国人児童のニーズにどのように応じることができるかを考える機会となりました。



小学校教育サポーター



[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 児童教育コース

事業概要

小学校教諭を目指す学生が、ボランティアとして週1時間決められた小学校に赴き、担当教諭の指導の補助を行う中で、授業の進め方、学級づくりの在り方、様々な児童への関わり方、安全管理などの配慮事項を学びます。

連携先

前橋市立駒形小学校／前橋市立永明小学校／前橋市立筑井小学校／共愛学園共愛小学校

2023年度実績・成果

2023年度前期・後期5月～12月（週1時間、全10回以上） <登録者>25名

学生の自己評価の結果は以下のとおりでした。

【授業補助を通して学んだこと】

- ・授業のつくり方 64%
- ・児童とのかかわり方 92%
- ・教材の扱い方 68%
- ・発問の仕方 76%
- ・板書の仕方 72%
- ・指導形態のあり方 76%
- ・学力差に応じた指導 68%

【学級の様子から学んだこと】

- ・掲示物の種類や内容の工夫 84%
- ・掲示の仕方の工夫 80%
- ・教室内の整理・整頓の工夫 88%
- ・教室内の安全対策の工夫 44%
- ・教室内の環境整備の工夫 68%

2024年度実績・成果

2024年度前期・後期（週1時間、全10回以上） <登録者>30名

学生の自己評価の結果は以下のとおりでした。

【授業補助を通して学んだこと】

- ・授業のつくり方 83%
- ・児童とのかかわり方 97%
- ・教材の扱い方 69%
- ・発問の仕方 48%
- ・板書の仕方 79%
- ・指導形態のあり方 55%
- ・学力差に応じた指導 76%

【学級の様子から学んだこと】

- ・掲示物の種類や内容の工夫 76%
- ・掲示の仕方の工夫 66%
- ・教室内の整理・整頓の工夫 83%
- ・教室内の安全対策の工夫 48%
- ・教室内の環境整備の工夫 52%

[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 国際社会学部

事業概要

太陽誘電株式会社と連携し、テクノロジーの活用によって社会課題の解決に取り組むワークショップを実施しています。10月のキックオフで最先端技術を学んだ後、学生たちはグループごとに活用方法を企画・検討します。12月の中間報告会では進捗を発表し、開発者からのアドバイスを受けて内容を深めたうえで、2月の最終成果発表会でその成果を発表します。産学官の協働を通じて、学生が実社会に目を向ける貴重な機会と文理を越えた知識横断の学びが創出されています。



連携先

太陽誘電株式会社

2023年度実績・成果

- ・キックオフイベント 2023年10月19日 (木) 6限
 - ・中間報告会 2023年12月14日 (木) 6限
 - ・最終発表会 2024年2月8日 (木) 9:00~12:00
- <参加者>約50名 (太陽誘電株式会社関係者含む)

「IoTソリューションsoliot™」「水害モニタリングシステム」「光変位センサ」「回生電動アシストシステム」の4製品・技術の活用方法を検討しました。8チームが最終発表会へと進み、チーム「渡辺ゼミBチーム」の「メロディ st.」が最優秀に輝きました。



2024年度実績・成果

- ・キックオフイベント 2024年10月10日 (木) 6限
 - ・中間報告会 2024年12月12日 (木) 6限
 - ・最終発表会 2025年2月7日 (金) 9:00~12:30
- <参加者>約50名 (太陽誘電株式会社関係者含む)

「IoTソリューションsoliot™」「水害モニタリングシステム」「光変位センサ」「回生電動アシストシステム」「においセンサ」の5製品・技術の活用方法を検討しました。10チームが最終発表会へと進み、チーム「マズミ&タガレン」の発表「見えない危険に見える化するー児童の安全を守るSoliotの活用」が最優秀に輝きました。



学生プロジェクト「外国につながる子どもを元気に♪プロジェクト」



[カテゴリ] 連携 [実施主体] 学生団体

事業概要

本事業は、学生の自主的な活動（学生プロジェクト）の一環として、伊勢崎市立境小学校の日本語教室における支援活動と、NPO法人可児市国際交流協会の15歳以上の生徒を対象とした高校進学を目指す教室との交流会を企画・実施したものです。

連携先

NPO法人可児市国際交流協会／伊勢崎市立境小学校

2024年度実績・成果

- ・2024年6月11日（火）～7月17日（水）、10月30日（水）～12月9日（月） 日本語教室支援活動（各学生年3回）
 - ・2024年8月26日（月）・27日（火） 外国人生徒との交流会（日本語教室の生徒19名）
- <参加者>7名（プロジェクト参加学生）

日本語教室支援活動では、外国人児童の支援について体験的理解を図り、外国人生徒との交流会では、大学生が企画した音楽・ダンス・レクリエーション・料理等の楽しい活動を通して、外国人生徒から多くのことを学びました。本プロジェクトを通して、参加した学生は外国につながる子どもに寄り添える教員に必要なマインドと能力を高めることができました。

前橋まちなか教会散歩マップ



[カテゴリ] 貢献

事業概要

前橋中心地に集中するキリスト教諸教派の各教会でフィールドワークを行い、前橋市のキリスト教とその歴史について紹介する「前橋まちなか教会散歩マップ」を作成した事業です。

連携先

日本基督教団前橋教会／前橋カトリック教会／聖公会前橋聖マテア教会／救世軍前橋小隊
前橋ハリストス正教会・亜使徒大主教聖ニコライ聖堂

2023年度実績・成果

2023年9月26日（火）～10月15日（日） <参加者>約30名

3年生から4年生まで30名が分担して聞き取りと資料収集を行い、地図を作成しました。フィールドワークの成果と作成した地図は本学園祭であるシャロン祭で展示発表されました。

公開講座

[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 地域共生・SDGsセンター

事業概要

地域の方向けの生涯学習講座として、年1回11月末～12月初旬に開催しています。毎年異なるテーマで講座やワークショップを行い、50～100名の参加者とともにテーマについて考え、学びを深める機会としています。群馬県生涯学習センターが運営する「ぐんま県民カレッジ」の連携講座でもあります。



連携先

群馬県教育委員会／前橋市／前橋市教育委員会／伊勢崎市教育委員会／前橋商工会議所／FM群馬／群馬テレビ／上毛新聞社／まえばしCITYエフエム（いずれも名義後援）

2023年度実績・成果

2023年12月9日（土）13：00～16：00 <参加者>約50名

『「地域づくり」とぐんまのいま・これから』をテーマに、講座「地域づくりと社会的合意形成の手法」、トークセッション「まえばしのいま・これから」の2部構成で開催しました。講師・ファシリテーターには桑子敏雄氏（一般社団法人コンセンサス・コーディネーターズ代表理事）、パネリストには鈴木正知氏（NPO法人前橋環境保全基地アリスの森代表理事）と鈴木鉄忠准教授（東洋大学）、呉宣児教授（本学）をむかえました。当日は、これまで取り組んできた街づくりの内容などをお話いただいたほか、これからの前橋の展望についてのトークセッションを行い、約50名の参加者がテーマについて考え、学びました。



2024年度実績・成果

2024年12月7日（土）13：00～16：00 <参加者>約50名

「手で見る上毛かるたー見えない人の世界を知るー」をテーマに、講座「アートで知る見えない人の世界」、トークセッション「視覚障害者と芸術・文化」の2部構成で開催しました。講師・パネリストには、三輪途道氏（一般社団法人メノキ代表理事）、ファシリテーターには福西敏宏氏（一般社団法人メノキ副代表理事）、パネリストには多胡宏氏（ぐんまインクルーシブアート環境創造実行委員会委員長）と秋本真由美氏（株式会社ジンズ地域共生事業部）をむかえました。

絵本「みえなくなったちようこくか」の朗読や、「ミルミルかるた」（立体版上毛かるた）を用いた講座、視覚障害を持った人々の芸術体験に関するトークセッションをとおして、約50名の参加者がテーマについて考え、学びました。



[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 地域共生・SDGsセンター

事業概要

本学の授業の一部を一般の方に無料で公開し、地域の皆様と一緒に「共生」について考える事業です。2022年度以降は群馬県教育文化事業団と共催で、授業「人間を考える」の1コマ分を使い、県内団体による伝統芸能の公演（人形浄瑠璃）を行っています。地域の方や若い世代に対する、県内伝統文化の魅力発信・啓発にもなっています。

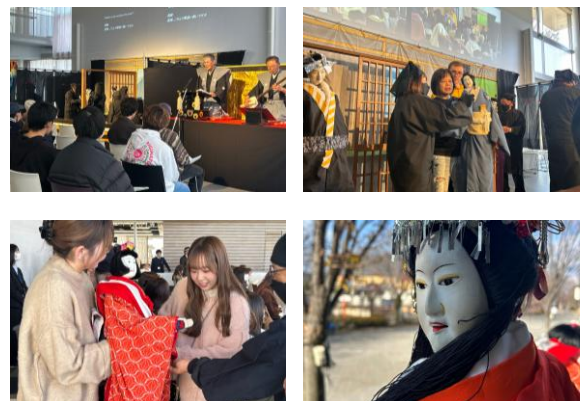


連携先

群馬県 / (公財) 群馬県教育文化事業団

2023年度実績・成果 12月7日（木）2限 <参加者>約130名（本学学生含む）

安中市松井田町を中心に活動する、八城人形浄瑠璃「城若座」による「傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段」の公演を行いました。また、人形浄瑠璃や、使用している人形についての解説講座および、実際に演劇で使用されている人形の操作体験を行いました。



2024年度実績・成果 11月28日（木）5限 <参加者>約90名（本学学生含む）

高山村を代表する「尻高人形錦松会」による、一人遣いの人形浄瑠璃の公演を行いました。演目「生写朝顔話／宿屋より大井川の段」公演後、人形浄瑠璃や使用している人形についての解説講座および、実際に演劇で使用されている人形の操作体験を行いました。



[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 地域共生・SDGsセンター

事業概要

毎年2～3月に市内公民館と連携して、前橋市の特色や地域の歴史について学ぶ講座を行っています。実施先の公民館に合わせて、毎年その地区に縁のある施設、歴史的資料、建造物、信仰などを中心テーマとして実施し、参加者が地域の歴史を学ぶことができる機会としています。



連携先

市内公民館

2023年度実績・成果

2024年2月10日（土）・17日（土）13：30～15：30 <参加者>2日間合計約100名

前橋市南橋公民館にて、「上毛を学ぶ-南橋地区の民俗・歴史を学ぶ-」をテーマに、2回に渡り講座を開催しました。第1回目は「葉をめぐる民俗-日々の生活と葉のかかわり-」と題し、鈴木英恵氏（神奈川大学日本常民文化研究所 特別研究員）による講座を、第2回目は「塩原家住宅と塩原家文書」と題し、小島純一氏（前橋市文化財保護課）による講座を行い、それぞれの専門的観点から南橋地区について学びました。



2024年度実績・成果

2025年2月16日（日）・18日（火）・22日（土）14：00～16：00 <参加者>3日間合計約100名

前橋市清里公民館にて、「清里地区の歴史・人権を学ぶ」をテーマとし、清里地区の歴史や、女性の人権について全3回の講座を開催しました。第1回は「榛名山東南麓、清里地区とその周辺の古代遺跡を探る!!」と題し前原豊氏（元前橋市教育委員会）が、第2回は「ホントにかかあ天下？ 一群馬で考える女性の人権-」と題し大嶋果織研究員（本学園キリスト教学校教育研究所）が、第3回は「古文書から見る江戸時代の清里の人々」と題し小嶋圭氏（群馬県文化財保護課）が講演を行い、それぞれのご専門から清里地区の歴史や、女性の人権について学びました。



[カテゴリ] 貢献 [実施主体] 地域共生・SDGsセンター

事業概要

群馬県の近現代史研究、特に戦前・戦後の群馬県の歴史について研究を行っています。研究は、本学教員ならびに本学教育に縁のある研究者で構成される「群馬現代史研究会」を中心に行っており、研究成果の発表・共有を毎年10月と3月の2回行っています。この会には、委員のほか、興味・関心のある方は誰でも参加が可能です。



連携先

なし

2023年度実績・成果

2023年10月7日（土）・2024年3月2日（土）14：00～16：00 <参加者>各回約20名

10月7日（土）に開催した第27回群馬現代史研究会では、「群馬から考える3.11」というテーマで、西館崇准教授（本学）より報告をいただきました。翌年3月2日（土）に開催した第28回群馬現代史研究会では、「群馬から考える3.11（2）」をテーマとし、第27回に引き続き西館先生と、県内酪農従事者の方より報告をいただきました。いずれの回も、報告後は参加者全員で活発な意見交換を行いました。



2024年度実績・成果

2024年10月12日（土）14：00～16：00・2025年3月1日（土）13：00～16：30 <参加者>約20～40名

10月12日（土）に開催した第29回群馬現代史研究会では、「満州事変と群馬県民－『上毛新聞』にみる社会の変容」というテーマで、福田博美氏より報告をいただきました。

翌年3月1日（土）は記念すべき第30回ということで、記念シンポジウムを開催し、「戦後80年と群馬現代史研究会の歩み」というテーマで大沼久夫名誉教授（本学）、宮崎俊弥名誉教授（本学）、岩根承成氏（本学元講師）、井坂優斗氏（館林市史編さんセンター）が講演およびパネルディスカッションを行いました。いずれの回も、報告後は参加者全員で活発な意見交換を行いました。



陶芸教室／テラコッタ彫刻教室



[カテゴリ] 貢献 [実施主体] 地域共生・SDGsセンター

事業概要

地域の方向けの生涯学習講座として、陶芸やテラコッタ彫刻の体験教室を開催しています。制作をとおして、地域の方との交流やものづくりの楽しさを広めることを目的とし、毎年2～3月に全2～3回の日程で行います。ものづくりの体験のほか、工程の解説や完成品の講評など、知識の面でも学ぶことができる内容となっています。



連携先

なし

2024年度実績・成果 2025年2月1日（土）・15日（土）・3月1日（土） <参加者>7名

『たたらづくりで作るマグカップ』と題し、粘土成型、釉薬掛け、作品講評の3回に渡って陶芸教室を開催しました。本多正直教授（本学）より技法や作品完成までの工程について説明を受けたのち、参加者一人一人が自由に作品作りを行いました。最終日には、完成した作品一つ一つについて講評を行い、参加者全員で作品の仕上がりを楽しみました。

出張講座



[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 地域共生・SDGsセンター

事業概要

本学の知を地域に還元することを目的に、本学の教員が公民館等の地域に赴いて講座を行う事業です。年度ごとに開講可能な講座一覧を各施設へ共有し、依頼先の希望に合わせて生涯学習講座、スキルアップ研修、コミュニティ内イベントなど様々な形式で講座を開講します。



連携先

県内公民館等

2023年度実績・成果 2023年10月～2024年3月の期間随時 <参加者>各回約20名

- ・12月16日（土）
前橋市永明公民館にて、大嶋果織教授（本学）によるトークタイム講座を開催

2024年度実績・成果 2024年4月～2025年3月の期間随時 <参加者>各回約20名

- ・5月16日（木）
高崎市新町公民館にて、佐藤高司教授（本学）によるぐんま方言かるた講座を開催
- ・11月30日（土）
前橋市永明公民館にて、高田葉月音学主任（本学）によるトークタイム講座を開催
- ・1月11日（土）
前橋市城南公民館にて、村山賢哉教授（本学）によるプログラミング講座を開催

Back to the Earth (I、II、III、IV)



[カテゴリ] 貢献 [実施主体] 呉宣児教授 (本学) ・鈴木鉄忠客員教授 (本学) ・栗原美紀講師 (本学)

事業概要

SDGsやスローシティの理念と関わる実践活動として、春と秋に市民を対象に実施した事業です。

連携先

前橋赤城マイマイの会

2023年度実績・成果

I : 2023年6月3日 (金) 10:00~15:00 <参加者>約20名 (スタッフ含む)

6月3日 (土) に、大胡ぐりーんふらわー牧場にて、第1回Back to the Earthを開催しました。呉宣児教授 (本学) と鈴木鉄忠客員教授 (本学) が企画し、自然健康法としてのはだしウォーキングのレクチャーや実践、ごみ拾いなどの活動を行いました。午前の部と午後の部を合わせて参加者は20名で、イベント運営のために学生スタッフも19名参加しました。



2024年度実績・成果

II : 2024年5月25日 (土) 10:00~12:00、13:30~15:30

III : 2024年11月2日 (土) 10:00~12:00

IV : 2024年11月10日 (日) 10:00~12:00

<参加者>約20~35名 (スタッフ含む)

牧場や大型公園に集まった方々と一緒に、自然健康法としての裸足ウォーキングのレクチャーや実践、ヨガ体操、ごみ拾いなどの活動を行いました。



[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 大学

事業概要

人口減少化という社会構造の変化を背景に、「地域人材の育成・定着」を軸に、若者の地元就学・就職、起業・事業承継、学びなおし（リカレント教育）など、地域の将来を支える人材をどのように育成し、定着させていくか、また、産業界、教育界、行政が共通して抱える喫緊の課題に対し、互いの強みや経営資源を持ち寄りながら課題解決に取り組むことを本プラットフォームの目的としています。



連携先

前橋市／前橋商工会議所／前橋市内5大学（群馬大学、前橋工科大学、群馬県立県民健康科学大学、群馬医療福祉大学、本学、本学短期大学部）／群馬県専修学校各種学校連合会前橋支部

2023年度実績・成果

- ・めぶくビジネススクール 2023年10月21日～2025年2月3日、全8回（ほぼ隔週土曜日） <参加者>市内の企業人（役員、マネジメント層）13名
- ・合同FD・SD事業 2024年3月26日（火）15：00～16：30 <参加者> 88名
- ・共同公開講座 2024年3月7日（木）よりオンライン配信開始（YouTube 一般公開）

めぶくビジネススクール（MBS）では、市内企業の役員やマネジメント層を対象に実施し、組織論、データ分析、マーケティング等をテーマとしたオムニバス形式の講座を展開しました。講座は複数回にわたり、各回は100分2コマを基本とし、最終回のみ構成を変更して実施しました。会場は中央商店街のcommをはじめ、群馬大学、前橋工科大学、共愛学園前橋国際大学など複数拠点を活用し、受講生アンケートでは高い評価を得ました。

合同FD・SD事業では、「地域を持続可能な姿に変革する大学の役割について」をテーマに、対面およびオンラインの併用形式で開催しました。講師には富士フイルム株式会社取締役常務執行役員で知的財産本部を管掌する柳原直人氏を迎え、企業の視点から大学と地域の関係性について講演が行われました。

共同公開講座は、市内の中学校および高等学校を対象として実施し、全11講座をオンライン配信形式で提供しました。講座内容はYouTubeを通じて一般公開し、幅広い層が視聴できる形で展開しました。

2024年度実績・成果

- ・めぶくビジネススクール 2024年10月12日～2025年2月8日、全8回（ほぼ隔週土曜日） <参加者>市内の企業人（役員、マネジメント層）10名
- ・合同FD・SD事業 2025年3月18日（火）15：00～16：30 <参加者> 92名
- ・共同公開講座 2025年3月21日（金）よりオンライン配信開始（YouTube 一般公開）

めぶくビジネススクール（MBS）では、市内企業の役員やマネジメント層を対象に実施し、組織論、データ分析、マーケティング等をテーマとしたオムニバス形式の講座を展開しました。講座は複数回にわたり、各回100分2コマを基本とし、最終回のみ構成を変更して実施しました。会場は中央商店街のcommをはじめ、群馬大学、前橋工科大学、共愛学園前橋国際大学など複数拠点を活用し、受講生アンケートでは前年度を上回る高い評価を得ました。

合同FD・SD事業では、「大学における障害のある学生への修学支援の基礎知識～合理的配慮とは～」をテーマに、オンライン形式で開催しました。講師には村田淳准教授（京都大学学生総合支援機構）を迎え、大学における修学支援の基本的な考え方や実践に関する講演が行われました。

共同公開講座は、市内の中学校および高等学校を対象として実施し、全11講座をオンライン配信形式で提供しました。講座内容はYouTubeを通じて一般公開し、学校現場のみならず広く地域に開かれた学習機会となりました。

[カテゴリ] 連携 [実施主体] 大学

事業概要

群馬県において産・学・官・金が互いに連携し官民共創コミュニティの実現を図り、地域力の向上、イノベーションの加速によって、地域社会及び経済を活性化させることを目的としています。年1回、前橋商工会議所等を会場に、前橋商工会議所・群馬大学・前橋工科大学・共愛学園前橋国際大学が主催で開催しています。



連携先

前橋商工会議所／群馬大学／前橋工科大学／群馬県／前橋市／県内金融機関

2023年度実績・成果 2023年8月29日（火）13：00～16：55 <参加者>全体約230名、分科会③25名

本学は分科会3を担当し、「リトリートと観光」～リトリート聖地の形成と観光イノベーション～をテーマに分科会を実施しました。栗原美紀講師（本学）がファシリテーターを務め、宮口直人氏（株式会社ビズユニテッドCEO）および福田真宜氏（群馬県産業経済部戦略セールス局観光魅力創出課リトリート推進室室長）をパネリストとして迎えました。

冒頭では趣旨説明とリトリートと観光の関係に関する解説が行われ、続くキーノートスピーチでは、群馬県におけるリトリート推進施策や、海外旅行者の長期滞在に着目した観光経営の視点、さらに地域におけるリトリート事例が紹介されました。

後半のディスカッションでは、群馬県の特徴を活かしたリトリートのあり方や、リトリートの聖地形成に向けた観光イノベーション、長期滞在型旅行の課題について意見交換が行われました。



2024年度実績・成果 2024年11月19日（火）13：00～16：55 <参加者>全体約320名、分科会③43名

本学は分科会3を担当し、「人口減少社会における企業イノベーション」をテーマに分科会を実施しました。曹圭响（ジョ・キュドン）講師（本学）がファシリテーターを務め、池島政広氏（一般社団法人アジア経営戦略研究所代表理事）、馮麗萍（フォン・リーベン）氏（ウィングロボティクス株式会社代表取締役社長）、宮崎了一氏（独立行政法人日本貿易振興機構〔ジェトロ群馬〕所長）をパネリストとして迎えました。

冒頭では曹先生より趣旨説明と人口減少社会における課題の共有が行われ、続くキーノートスピーチでは、大学教育および社会人教育の重要性、ロボット活用による労働力不足への対応事例、ジェトロによる企業のグローバル化支援の取組が紹介されました。

後半のディスカッションでは、人口減少社会において企業イノベーションを成功に導くための企業の考え方をテーマに意見交換が行われました。



[カテゴリ] 貢献・連携 [実施主体] 日本授業UD学会 ぐんま前橋支部

事業概要

日本授業UD学会は、本来、授業で追求していた「わかる・できる」授業づくりを再考するとともに、特別支援教育や学校経営の考え方を活かすことで、通常学級のクラス全員の子どもたちが、楽しく学び合い「わかる・できる・探究する」授業をつくることを目指す学会です。そのぐんま前橋支部の活動の一環として、研修会やフェスタの開催を行っています。

連携先

日本授業UD学会

2024年度実績・成果

- ・ 第1回定例研修2024年5月17日（金）19：00～20：30
- ・ 第2回定例会2024年9月19日（金）19：00～20：30
- ・ 第1回研究大会「ミライの学び」フェスタ2024年11月16日（土）12:30～17:00

<参加者> 定例研修会各会20～30名、フェスタ約150名（オンライン含む）

第1回定例研修会では、「多様な学び方が活きる国語授業」をテーマに、桂聖准教授（本学）による講演を行うとともに、参加者とのディスカッションを実施しました。第2回定例研修会では、「個別最適な学びと協働的な学び」をテーマに、星教諭および小野教諭による実践発表とディスカッションを行いました。また、11月に開催した第1回研究大会「ミライの学び」フェスタでは、「いま、必要な授業の力」をテーマに、桂聖准教授（本学）による公開授業および授業協議会を実施したほか、川上教諭による講演、さらに石井睦美氏（児童文学作家）による講演を行いました。

本学には、幅広い分野・フィールドで教育・研究を行う教員が在籍しています。これからも「地学一体」な大学として、それぞれの専門分野を活かし、地域社会の皆様と密に連携しながら、持続可能で活力ある地域づくりや地域社会の未来を切り開く人材の育成に取り組んでまいります。

全学教育推進機構		
名前	職位	研究分野
西館 崇	機構長 教授	国際関係論、国際協力
大森 昭生	学長 教授	アメリカ文学、男女共同参画論
杉沢 一美	教授	金融教育、経済教育
竹内 愛	教授	比較教育学、英語教育、異文化理解教育、異文化間コミュニケーション
丸橋 寛	学長特命補佐 教授	数学教育・教育課程・指導法の開発、教育行政・管理職研修・教員研修・育成、学校経営・教育経営、小中高大接続、産官学連携、非認知能力の育成
張 渭涛	准教授	中国語学、日本中国語検定とHSK受験、中国文学、中国の歴史文化と現代社会、台湾の歴史と社会、日中禅宗美学の比較
児浦 良裕	准教授	教育デザイン論、地域連携型教育、地域コミュニティ振興論
ラーソン・ジョン	専任講師	English Literature、Literature in Language Learning、Corpus Linguistics、English as a Second/Foreign Language Education
三浦 佳奈	専任講師	生命科学、分子生物学、食品科学、科学技術コミュニケーション
黒澤 絵美	助手	

国際社会学部		
英語コミュニケーションコース		
名前	職位	研究分野
園田 敦子	コース長 准教授	外国語教育
小林 恵美	教授	TESOL、言語教師教育、教育言語学、第二言語習得
篠原 美登里	教授	コミュニケーション、社会言語学、交渉学、英語教育
デロージェ・ロリアン	教授	Psychology、Business、Applied Linguistics
竹内 愛	教授	比較教育学、英語教育、異文化理解教育、異文化間コミュニケーション
ラーソン・ジョン	専任講師	English Literature、Literature in Language Learning、Corpus Linguistics、English as a Second/Foreign Language Education
国際コース		
名前	職位	研究分野
丹羽 充	コース長 准教授	文化人類学、南アジア地域研究、宗教学
呉 宣児	教授	環境心理学、文化発達心理学、教育心理学、原風景・場所への愛着、多文化共生
謝 志海	教授	国際関係学、国際政治学
栗原 美紀	専任講師	社会学
山手 昌樹	専任講師	ヨーロッパ史
情報・経営コース		
名前	職位	研究分野
神宮 貴子	コース長 准教授	経営工学
小柏 伸夫	教授	情報科学、インターネット関連技術
兼本 雅章	教授	公共経済、アントレプレナーシップ教育
村山 賢哉	学部長 教授	商学・経営学、人的資源管理論、組織論、情報管理論
渡辺 晃輔	准教授	情報技術、地理空間情報、ビッグデータ分析、エンジニアリング
曹 圭响	専任講師	経営学、国際経営、イノベーション
心理・人間文化コース		
名前	職位	研究分野
奥田 雄一郎	コース長 教授	心理学
西川 正也	副学長 教授	文学一般、中国文学、ヨーロッパ文学
松本 学	学長補佐 教授	臨床発達心理学、見た目の違い (Visible Difference)
野口 華世	教授	日本史、日本中世史、地域史
古澤 健太郎	准教授	歴史神学
唐 音啓	専任講師	人格心理学、学校臨床心理学
児童教育コース		
名前	職位	研究分野
本多 正直	コース長 教授	美術教育、彫刻制作、石彫刻、テラコッタ彫刻、ICT美術教材、方言かるた
後藤 さゆり	副学長 教授	教科教育学・初等中等教育学、教育学、家政学・生活科学
桂 聖	准教授	国語科教育、教師教育
張 信愛	准教授	学校経営、教育経営、教育制度、教師教育
八桁 由布樹	専任講師	音楽科教育学、外国につながる子どもの教育、多文化共生教育、民族音楽学

本学HPより、詳しい情報をご覧ください▶



学校法人共愛学園 共愛学園前橋国際大学
Kyoai Gakuen University

地域連携・社会貢献白書 2023-2024

2026年3月発行

〒379-2192 群馬県前橋市小屋原町 1154-4

Tel : 027-266-7575 (代)

027-266-9060 (本書に関するお問い合わせ)